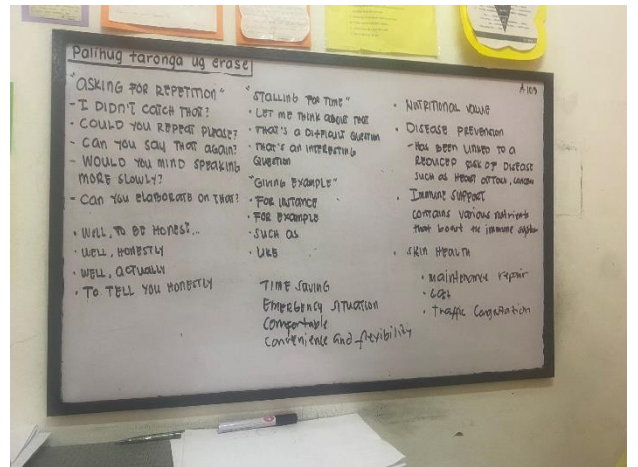


参加プログラム：SMEAG(IELTS コース)

参加時の学年：1年、学部：人文、学科：英語英米文化

私は大学受験が終わっても、英語の勉強を習慣化させることを目標としていました。しかし、なかなかモチベーションが湧かず、結局受け身のまま一年が経過してしまったので、このままではいけないと思い、強制的に英語に没頭できる環境に身を置くために今回の外国語現地実習を決断しました。一ヶ月での大幅な英語力の向上は難しいと聞いていたので、どうせやるならできる限り詰め込んで勉強したいと思い、スパルタレッスンがある SMEAG を選択しました。人生で初めての留学だったので、授業についていけなかったらどうしようといった不安がありました。しかし、その不安を解消するために、留学前から、英語の勉強をコツコツ始めることができたので、良いきっかけになったなと思っています。これから留学を考えている方々にも、出発する前から少しでも英語に触れる機会を増やすことをお勧めします。なぜなら、ゼロの状態からいきなり11時間勉強をするとすると、精神的にも身体的にも負担が大きいです。

最初は、環境に適応することや、スパルタ授業について行くのに必死でした。毎週ある模擬試験などの不安に押しつぶされそうになり、眠れないこともありました。ルームメイトと悩みを相談しあったり、日本にいる家族や友達と電話をすることでなんとかメンタルを保っていました。私の担当の先生はとてもフレンドリーで話しやすく、いつも私の体調の心配をしてくれました。私は人見知りで積極的に人と関わるのがあまり得意ではないのですが、周りの先生や生徒が温かく受け入れてくださったので、一ヶ月間頑張ることができたのだと思います。



一ヶ月という短い期間で、英語力をどこまで向上させることができるのか、英語力は上がらないのではないかと不安でしたが、後半になってくると英語で人と話すことに慣れたり、先生の言っている英語がすんなり頭に入ってくるようになるのを実感できました。さらにライティングも3.5から6.0まで上げることができたので自分でも驚きました。

SMEAGでは毎週金曜日に卒業式があり、多くの生徒が卒業していくと同時に新しい生徒が入学するという仕組みなので、常に新たな出会いがあります。英語だけではなく、様々な国籍の方との接し方を学んだり、様々なバックグラウンドを持った人と話すことができる貴重な機会となり、多くの刺激を受けました。

そして、帰国してからは小さなことに感謝できるようになりました。日本での生活が当たり前ではなかったことに改めて気付かされました。今まで一番今を全力で生きた一ヶ月間だったと思います。先のことを考えて、まだこんなに残っているのかと思うよりも、今できること、やらなければならないことに集中していたらとてもあっという間でした。一生忘れることのない思い出になったと思います。この機会を無駄にしないように、留学で得たものを活かし、今後も英語の勉強に励んでいきたいと思っています。

